

# 消防防火フード

防火フードは頭部、頸部の露出される部分(目を除く)を保護するもので耐炎、耐熱性に加え、顔面に直接触れるためソフトな肌触りや伸縮性、吸湿性が求められます。アラミド繊維、難燃レーヨン(ビスコースFR)、導電繊維を混紡した編み組織の素材を2層構造とし、空気呼吸マスクや防火帽シールドとの整合性が取れたデザインで、炎や熱風から頭部・頸部を保護するものです。



製品品番  
2-68-9444

製品品番  
2-75-9444

素材混紡  
メタ系アラミド 48.5%  
ビスコースFR 48.5%  
導電性繊維 3%

適合規格 EN 13911:2004  
EN 340:2002  
平成29年度防火フードガイドライン



## 平成29年度 防火フードガイドラインが求める性能基準

試験項目	試験方法	要求基準	試験結果
耐炎性能試験	IISO 15025:2000 A	火炎伝播、穴あき、残炎・残じん2秒以内	なし、0秒 Pass
熱伝達 (火炎暴露)	ISO 9151:1995	HTI24 8秒以上	10秒 Pass
		HTI24-HTI12 3秒以上	3秒 Pass
熱伝達 (放射熱暴露)	ISO 6942:2002 B	RHTI 11秒以上	28秒 Pass
		RHTI24-RHTI12 3秒以上	11秒 Pass
耐熱性能 (表素材)	ISO 17493:2000	熔融、滴下、分離、発火なし 収縮率 5%以内	なし Pass 縦 0.9%、横-1.9% Pass
縫い糸耐熱性能	ISO 17493:2000	発火、熔融、炭化なし	なし Pass
放射熱暴露後の破裂強度	ISO 13938-2:1999	破裂強度200kpa以上	634kpa Pass
縫い目の破裂強度	ISO 13938-1:2002	破裂強度450kpa以上	707kpa Pass
寸法変化	ISO 5077:2007	寸法変化率5%以内	縦-4%、横-3% Pass

## ガイドラインに加えて弊社が必要とする性能基準

製品の仕様と機能性	EN 13911/EN 340	頭部・頸部・顔面のデザイン、大きさ、着脱時の機能性、 着脱後の形状変化、洗濯方法、取り扱い説明、等	Pass
その他の性能試験	EN 340 (EN 1413)	素材のPH値3.5以上9.5以内	Pass
	(ISO 105-E04)	汗による色変化	Pass
	(EN14362-1)	AZO染料の有無	検出なし Pass



**船山株式会社**  
http://www.funayama.co.jp

長岡本社 〒940-8577 新潟県長岡市稲保4-713-2  
TEL:0258-25-2780 FAX:0258-25-2805  
東京本店 〒104-0052 東京都中央区月島2-20-15  
TEL:03-3532-3601 FAX:03-3532-1119  
新潟支店 〒950-8756 新潟市東区卸新町3-51-29  
TEL:025-275-3155 FAX:025-275-3158